

Kerr 解の導出

山田龍

2020 年 7 月 2 日

1 一般相対論内山より

1.1 アインシュタイン方程式

計量を

$$g_{ij} = \eta_{ij} + al_i l_j \quad (1)$$

とかく。 η はミンコフスキー計量。いま、

$$\eta^{ij} l_i l_j = 0 \quad (2)$$

を条件として課す。 l がヌルベクトルであることを表す。いま

$$l^i = \eta^{ij} l_j \quad (3)$$

が添字を上付きにすると定義しよう。ヌルベクトルであることが確認される。

$$l^i l_j = 0 \quad (4)$$

反変計量テンソルは、

$$g^{ij} = \eta^{ij} - al^i l^j \quad (5)$$

これは

$$g^{ij} g_{jk} = \delta_k^i \quad (6)$$

$$g^{ij} = \eta^{ij} + bl^i l^j \quad (7)$$

$$(\eta^{ij} + bl^i l^j)(\eta_{jk} + bl_j l_k) = \delta_k^i + (a+b)l^i l_k + ab l^i l^j l_j l_k \quad (8)$$

より $b = -a$ がわかることから得た。(2) より空間の計量を使って

$$l^i = g^{ij} l_j \quad (9)$$

計量からクリストッフェル記号を計算したいので、 l の微分について考える。

$$\Gamma_{jk}^i = \frac{1}{2} g^{im} \left(\frac{\partial g_{mj}}{\partial x^k} + \frac{\partial g_{km}}{\partial x^j} - \frac{\partial g_{jk}}{\partial x^m} \right) \quad (10)$$

から、

$$\Gamma_{jk}^i l^k = \frac{g^{im}}{2} \left(\frac{\partial g_{mj}}{\partial x^k} + \frac{\partial g_{km}}{\partial x^j} - \frac{\partial g_{jk}}{\partial x^m} \right) l^k \quad (11)$$

$$= \frac{ag^{im}}{2} ((l_m l_j)_{,k} + (l_k l_m)_{,j} - (l_j l_k)_{,m}) l^k \quad (12)$$

$$= \frac{a}{2} (l^i l_j)_{,k} l^k \quad (13)$$